

7月27日　の海外相場								
COMEX/NYMEX (\$)		Gold (Dec)		Silver (Dec)		Platinum (Oct)		Palladium (Dec)
	Open	4,053.4		57.715		1,602.8		1,255.5
	High	4,085.2		59.015		1,617.1		1,265.5
	Low	4,024.0		57.445		1,578.4		1,233.0
	Settlement	4,070.8		58.715		1,604.1		1,253.6
	Change	20.6		0.857		-4.7		-8.7
EFP		\$0.00	\$2.50	¢ 25.00	¢ 30.00	\$6.00	\$11.00	\$0.00 \$5.00

Fixing Prices		
LBMA/LPPM Fixing (\$)		
	AM	PM
Gold	4,091.10	4,075.00
Silver	59.035	-
Platinum	1,638.90	1,628.25
Palladium	1,285.95	1,281.85

コメント

Precious Metal

金：横ばい　銀：小幅下落　プラチナ：横ばい　パラジウム：小幅上昇

金銀市場はまちまちの展開となった。中東情勢の緩和期待を背景に安全資産需要はやや後退したものの、原油価格の下落を受けて米長期金利が低下し、相場を下支えた。金は日本時間4,090ドル付近で始まり、一時4,110ドルまで上昇した後、4,060ドル近辺まで押し戻されるなど方向感に欠ける展開となった。銀は59ドル半ばで始まり、欧州・米国時間にかけて売りが優勢となり、58ドル半ばまで下落した。プラチナ・パラジウム市場は軟調に推移した。貴金属セクター全体で利益確定売りが優勢となった一方で、米長期金利の低下が下支え要因となり、下落幅は限定的となった。市場ではFOMC控え、様子見姿勢が強まる展開となっている。

FX

ドル円：下落　ユーロドル：下落

為替市場ではドル円が小幅ながら統落した。米国がイランへの攻撃を一時停止したことを受けて中東情勢への警戒感が和らぎ、一時163.33円まで下落した。ただ、その後はFRBの追加利上げ観測や日本の財政悪化への懸念を背景にドル買い・円売りが優勢となり、一時163.80円まで買い戻された。もともと、前週高値や163.99円の約39年8カ月ぶりの高値が上値抵抗として意識され、上昇は限定的となった。ユーロドルはほぼ横ばいとなった。欧米時間に入るとドル買いが優勢となり、一時1.1367ドルまで下落したものの、大きな方向感には出なかった。トランプ米大統領がイランとの会談に前向きな姿勢を示した一方、利下げを求める発言も行ったが、市場への影響は限定的だった。

ドル円：163.75ユーロドル：1.1369

7月27日　週の経済指標一覧									
	07/27 (月)			07/28 (火)			07/29 (水)		
Americas	アメリカ・耐久財受注 (速報値) 06月 [前月比]			アメリカ・コンファレンスボード消費者信頼感指数 07月			アメリカ・FRB政策金利(FOMC) 07月 [上限金利]		
	前	-4.5%	予 1.3%	前	91.2	予 92.0	前	3.75%	予 3.75%
							アメリカ・実質GDP (速報値) 第2四半期		
	前		予	前		予	前	2.1%	予 2.3%
	前		予	前		予	前		予
APAC									
	前		予	前		予	前		予
	前		予	前		予	前		予
EMEA	ドイツ・Ifo景況感指数 07月						英国・英中銀政策金利 07月		
	前	85.6	予	前		予	前	3.75%	予
	前		予	前		予	前		予

Source: みんかぶ

COMEX/NYMEX 投機的建玉				
2026/7/21	Gold (Mil oz)	Silver (Mil oz)	Platinum (koz)	Palladium (koz)
Long	25.0	301.7	1,598.1	948.4
Short	5.6	102.7	667.9	1,233.6
Net	19.4	199.0	930.3	-285.2
Change	0.1	-11.6	-33.7	-36.7

Source: CFTC

他社への転送・転用 堅くお断りいたします。

当資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保障するものではありません。当資料はお客様のお取引判断の参考となる情報提供を目的としており、弊社は、この情報の使用結果について一切責任を負いません。